

7月20日

連絡 (各)

1720140 3 14

7/20



宿管の問題

基本的mv 随に止れり (各々合表)

地所の問題

浄水装置... 見知等が壊れとあり
→ 維持管理

イラク復興支援群活動報告

2. 詳細

・ 別紙と併

ceveny-SD. AD

現地の状況

・ 入館の手配 等と 告知等あり

1 8 . 7 . 3

イラク復興支援群

報告項目

1 全般

2 人員、装備の状況

3 現地の治安状況等

4 明日の活動予定

全 報 (18年7月3日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具異状なし
- 警備態勢：██████
- 人道復興支援関連

◆ 医療

- サマーワ総合病院の研修医等に対する救命処置教育
別紙第1「サマーワ総合病院の研修医等に対する救命措置教育」
- 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

- ・ 学校の改修：
 - 2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業
- ・ 道路の改修：
 - 4カ所(サマーワ×4)での役務作業
- ・ PHCの改修：
 - 2カ所(サマーワ×2)での役務作業
- ・ 給水関連施設の改修：
 - 新ルメイサ浄水場等合同竣工式(ルメイサ)
別紙第1「新ルメイサ浄水場等合同竣工式」
 - 5カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ、ルメイサ)での役務作業
- ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 1カ所(サマーワ)での役務作業

新ルメイサ浄水場等：新ルメイサ浄水場、サマーワポンピングステーション、サマワ市ポンプ所、ワルカ浄水場、ヒドルレポンプ所

全 報 (18年7月3日)

○ 撤収業務関連

- ・ 後送コンテナ発送(72本)
- ・ 後送物品のコンテナ詰め
別紙第2「撤収業務」

○ 宿营地関連施設の整備

- ・ 宿营地散水
- ・ ゴミ回収
- ・ 尿尿汲み取り
- ・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス
- ・ Tレックス
- ・ 環境維持作業
- ・ コンボイ作業
- ・ 遠距離カメラ交換作業

○ 7月3日現在の雇用人員

計452名(累計：483,758名)※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

- ・ 供与RO浄水機により給水車延べ18両に対し約264t(約58,667人分)が配水された。
7月3日まで計約82,068t(約18,237,333人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

全 報 (18年7月3日)

- ◎ クウェート (後送業務隊、クウェート分遣班)
 - 後送業務隊
 - ・ 後送コンテナの受入 (72本)
 - ・ 倉庫におけるコンテナの開梱 (10本)
 - ・ PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車 (3両)
 - ・ 輸送コンボイの点検 (民間役務トレーラ18両)
 - ・ CVにおける群後方指揮所用通信回線構成現地確認
 - ・ CVにおけるACSA調整
 - ・ PWC洗浄施設における報道対応
 - ・ 別紙第2「後送業務隊活動状況」
 - クウェート分遣班
 - ・ 業者調整
 - ・ 防衛施設庁交代要員に対する帰国支援
 - ・ キャンプバージニアにおける群後方指揮所開設作業
 - ・ ナビスタ国境通過支援
 - ・ 本邦後送品後送準備
 - ・ CFLCC調整
 - ・ ACSA調整
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 連絡調整及び情報収集
 - ・ 基地群曹長ミーティング
- ◎ バスラLO
 - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
 - ・ 定例会議出席
 - ・ 航空輸送調整
 - ・ 師団長表彰調整、英軍回線撤収調整等
- ◎ スミッティLO
 - ・ 情報要求対応等
 - ・ 各種業務調整等
 - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・ 連絡調整及び情報収集

準備 A P23A24
UCA237

所収の進捗状況 (18年7月3日)

区 分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	38,383	34,341 【1,512】	57%	89%	25,781	
後送	コンテナ	337	156 【72】	46%	100%	181	
	車 両	203	65 【0】	32%	100%	138	

【 】内は、7月3日分の実績を示す。

撤収関連業務 成果 (7月3日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>5個コンテナ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●弾薬 : 3個(弾薬類) ●通電物品 : 1個(簡易地図作製装置等) ●施設物品 : 1個(爆破工具セット等)
輸送	<p>物品後送</p> <ul style="list-style-type: none"> ●役務コンボイ(2個)によるコンテナ72個の輸送 ●出発予定:0610及び1050 ●主要輸送品 野外電話機、防護マスク、車両無線機等
処分	<p>雷管等の処分実施</p>

後送等業務進捗状況 (サマリー)

項目	進捗状況	評価	備考
復興支援活動の整理	18%	現在進行中	17件中3件終了
宿営地の整理	宿営地を陸軍に移譲することに関する県知事の同意を確認	順調	浄水施設の管理及び地権者問題について検討・対処中
物品の不要決定処置	0%	順調	不要決定上申中
コンテナ詰め	57% 34,341/60,122	順調	
コンテナ輸送	46% 156/337	順調	
人員輸送	0%		

別表

雇用者 (18年7月3日)

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	47	271	452
	学校修復	109		
	道路補修	64		
	青年・スポーツ・女性	2		
	給水関連	49		
宿営地内役務	通訳	63	181	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
コンテナメンテナンス	5			

上段:増人員数
下段:減人員数

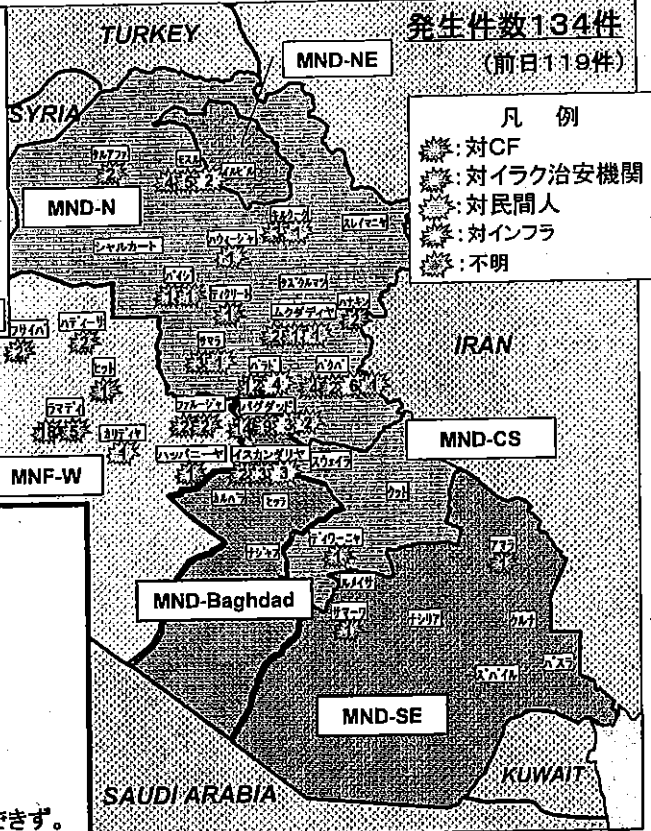
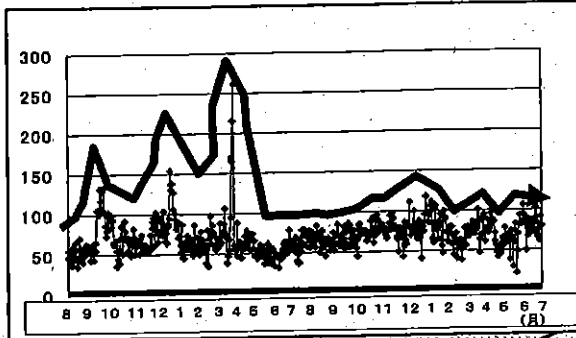
人員現況

区分	所属人員	サマーワ			クウェート			バグダッド			バスラ			キャンプ・スクリュー			タリル			その他			国外		国内		(備考) 総員の変化及び 増減人員の状況		
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出 国 人 員 (横上)	増 減 人 員	在 国 人 員 (横上)	増 減 人 員		在 国 人 員	
10次支援群	481	481	-	475	0	-	3	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	2	0	0	480	0	-	1	(ドイツ) (アフガニスタン) (日本)
10次警務派遣隊	10	10	-	10	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	0	10	0	-	0	
業務支援隊 5次委員	109	74	-	72	25	-	29	5	-	5	4	-	4	1	-	1	0	-	0	0	-	0	0	0	111	0	-	0	(KW) (KW) (KW)
後送業務隊	105	10	-	12	95	-	93	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	0	105	0	-	0	
合計	705	575	-	569	120	-	125	5	-	5	4	-	4	1	-	1	0	-	0	0	-	2	0	0	708	0	-	1	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 27名 187分(10次群TV電話合計:0名、FOMA合計:1220名)

事案等の発生状況 (2日0700~3日0700)

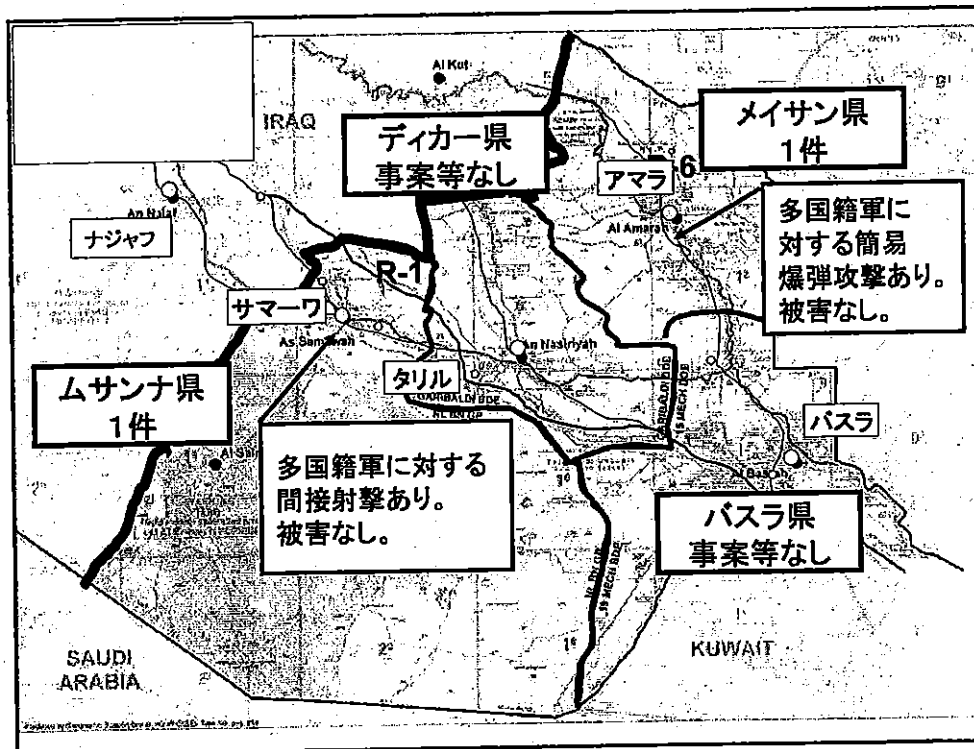
注意



- ☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。
- ☆ 細部発生状況
 - 時期
基地等: 昼夜間関係なし。
移動部隊等: 昼夜間関係なし。
 - 手段
基地等: 砲撃(迫撃砲、ロケット)主体
移動部隊等: 小火器、RPG、即製爆弾主体
 - 地域別状況: バグダッド地域を中心とする中部一帯及び西部で活動活発
中南部及び南東部地域: 比較的安定、但し油断できず。

事案等の発生状況 (2日0700~3日0700)

注意





イラク全土の全般情勢評価(7.3)

(6月30日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治的な対立、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続 5月のマリーキー内閣成立以降も治安安定化の方向に進んでいるとは言い切れない。	6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンサル・スンナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正



イラク南東部の全般情勢評価(7.3)

(6月23日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 ・ シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/23修正 6/23修正 6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正
サドル派	1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 2 地方選挙に向けサドル派民兵とパドル組織との緊張が高まる可能性	6/23修正 1/14追加
MSR/ASR	1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正
タリルAB	1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.3)-1



(7月1日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化する可能性 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 簡易爆弾を用いた攻撃が比較的軽易に行われる可能性 この際、EFP等の高度な技術を要する簡易爆弾に加えて、比較的短時間に設置できる簡易爆弾や旧式の簡易爆弾が使用される可能性 5 地方選挙を控える中、評議会メンバー等に対する攻撃(サドル派民兵による可能性がある)が継続し、これにSCIRI(イラクイスラム革命最高評議会)の要員が巻き込まれる場合、バドル組織とサドル派民兵との緊張が高まる可能性	6/23修正 6/8修正 6/27修正 7/1追加
スンニ過激派 国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 治安機関によって当面のデモの発生は効果的に抑止されているが、燃料、電力、雇用状況の根本的な改善は図られておらず、また、治安機関が現在の高いオブテンポを長期間継続することは困難であると見積もられるため、今後もデモや暴動が発生する可能性は継続	6/15修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.3)-2



(7月1日以降変更なし)

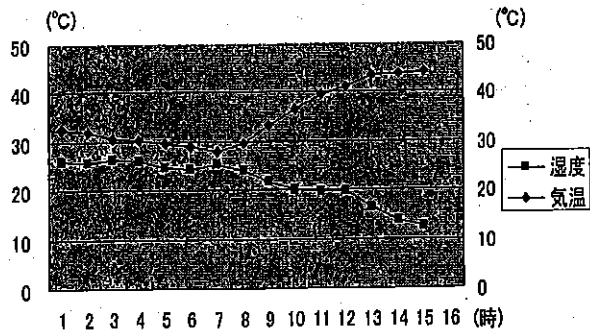
区 分	内 容	備 考
サドル派	1 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 サドル派民兵は英豪軍撤収後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性 (前半部分を全般の項に移項) 2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性 3 サドル派民兵過激派等により、宿営地外活動を実施中の部隊に対する臨機の簡易爆弾、RPG、小火器による襲撃及び宿営地に対する間接射撃等が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーワ市中心部及びCooperative Zone(イエロー・ゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	7/1修正 6/4修正 6/23修正

現地の気象情報

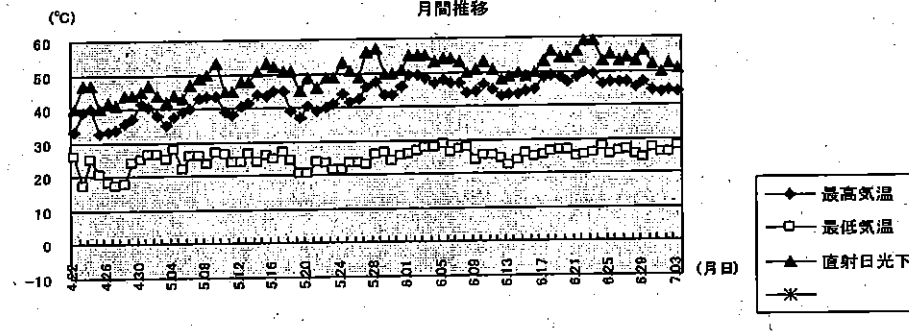
報告内容

明日の日の出 : 0559(サマータイム)
 明日の日の入 : 2008
 明日の月齢 : 8.6
 明日の月出沒 : (出4日1345~没5日0100)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高44.1℃最低28.0℃
 : 最高51℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 21.8%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



クウェートの治安状況等(7月3日(月))

区分	内容	備考
治安状況等	1 [redacted] 倉庫・宿泊場所等活動地域 異常なし。	7/1追加
	2 後送コンボイに与える影響 (1) MSRタンパ上、特にクウェートからタリル空港までの経路上、後送コンボイに対するIED攻撃の可能性がある、業者に警戒を促す必要がある。 (2) クウェート国内における後送コンボイに対する小火器による攻撃の可能性は否定できず、業者に注意を促す必要がある。	7/3修正
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日主要国道で発生している状況から、車両運行には十分注意する必要がある。	
	4 宿泊場所及び[redacted] 倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及びKGL倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
	5 その他 イラクのマリキ首相がイラク復興支援の要請のためクウェートに今週来訪予定	
気象	1 天気:晴れ 2 気温 :1100現在の気温(直射日光下):55℃ :0700現在の気温(直射日光下):42℃ 3 今後2~3日以内の砂嵐の発生の可能性:なし。	

撤収関連業務 予定 (7月4日)

区分	業務内容
コンテナ 作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2個コンテナ作成</div> ●火器物品 : 2個(三脚架、工具等)
輸送	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">特になし</div>

18年7月4日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	群長の行動	0600 0610	J9行動証明について(仰決)	
		0740 0750	統幕長報告	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 0915	6日J任務経路等について(仰指)	
		0915 1000	宿営地内勤務	
		1000 1100	宿営地内視察	
		1100 1220	宿営地内勤務	
		1220 1300	誕生日会食	
		1300 1445	宿営地内勤務	
		1445 1500	活動命令(案)について(仰決)	
		1500 1600	宿営地内勤務	
		1605 1635	作戦会議	

18年7月4日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2	業務支援隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0830 1220	宿営地内勤務	
		1220 1300	誕生日会食	
		1300 1600	宿営地内勤務	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	
J9	情報収集 ()			

18年7月4日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J201	GRF (A)			
J202	GRF (B)			
S6☆	役務警備員配置	4日 1130~ 1930~ 5日 0530~	宿営地~運河警戒位置~宿営地	
S8	看護技術教育(出島)	1000 1230	ムサンナ県看護師に対する指導者養成教育	HMV(Med)×1
S11☆	警衛		警衛	

18年7月4日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1
S13a	宿営地内工事、作業	0830~1600	宿営地散水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	屎尿汲み取り	
S13d		0830~1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13e		0900~1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13f		0900~1600	Tレックス	
S13g		別示	コンボイ作業	

18年7月4日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1000	宿営地内活動	
		1000 1200	帰国前教育(離脱3波) [シアタールーム]	
		1300 1500	帰国前教育(離脱4波) [シアタールーム]	
		1500 1600	宿営地内活動	
		0700 1600	群統制(コンテナ作成、輸送)	
S16	空中監視活動	4日0830 ~ 5日0830	空中監視活動	

18年7月4日(火)の活動予定

後送業務隊	クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	グレート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> 倉庫におけるコンテナの開梱(5本) PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車(4両) ナビスタ通過支援 輸送コンボイの点検(民間役務トレーラー17両) CVにおける群後方指揮所用通信回線構成現地確認 ムバラク空軍基地現地確認 	<ul style="list-style-type: none"> 天幕返納準備 キャンプバージニアにおける群後方指揮所開設作業 コンテナ積載・点検 ナビスタ国境通過支援 本邦後送品後送準備 米軍との業務調整 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集 基地群曹長ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 定例情報収集 定例会議出席 航空輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 各種業務調整 各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集

18 . . . 3
イラク復興支援群

作戦会議(7-3-0815)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: []
- 群長指導事項
 - 新ルメイサ浄水場等合同竣工式参加のため不参加

作戦会議(7-3-1605)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: []
- 群長指導事項
 - 本日の新ルメイサ浄水場等合同竣工式は、県知事も参加され、滞りなく終了する事ができた。これで、10次群としての宿営地外での竣工式は終了した事になる。竣工式に携わった隊員は御苦勞であった。宿営地外での竣工式は終わったが、まだまだ色々な事があると思うので、気を引き締めて実行せよ。

お疲れ様でした

サマーワ総合病院の研修医等に対する救命処置教育

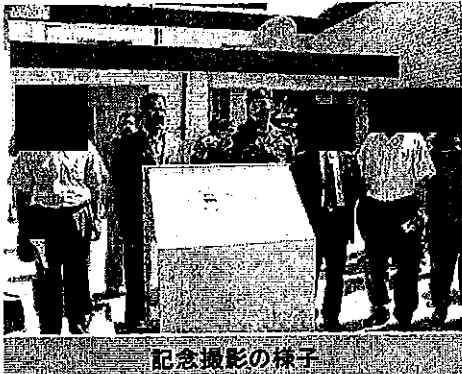


救命処置要領に関するレクチャーの様子



救命処置要領の練度最終試験の様子

新ルメイサ浄水場等合同竣工式

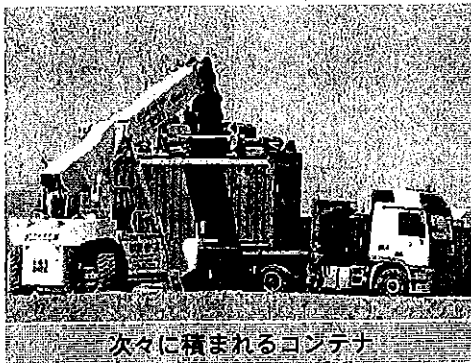


記念撮影の様子



ハンサー三原知事と水を試飲する隊長

撤収作業



次々に積みれるコンテナ



トラックでコンテナを持ち上げる様子

後送業務隊活動状況



空白司令との懇談の様子



PWC洗浄施設における撤収作業



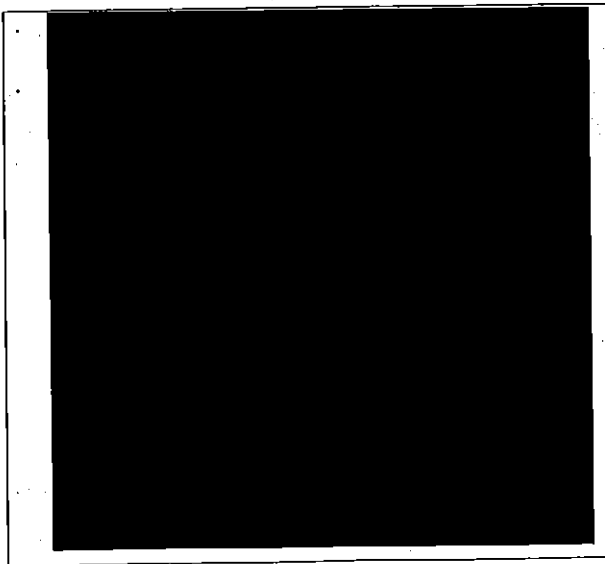
バグダッドLO日々業務報告(7月3日1830)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 なし (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 基地群曹長ミーティング
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	

別紙第1

7月3日付JAM情報最新版(仮訳)

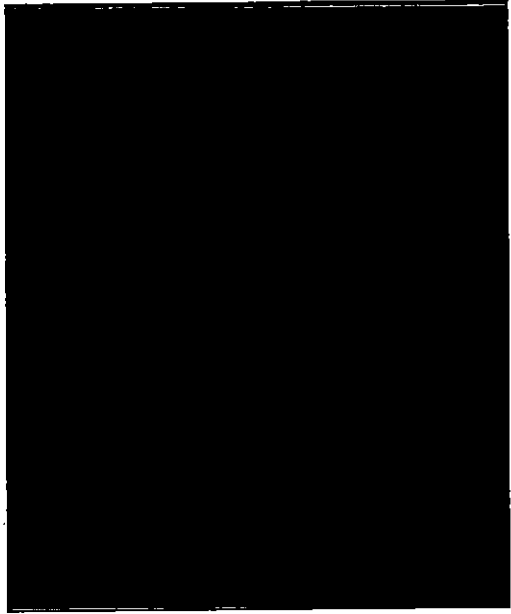
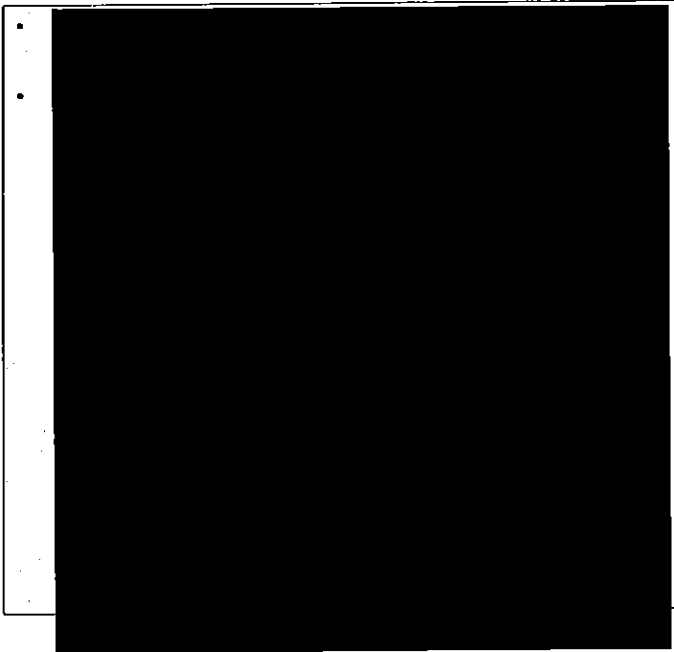


評価:



[Redacted]

JAM Update: 03 Jul

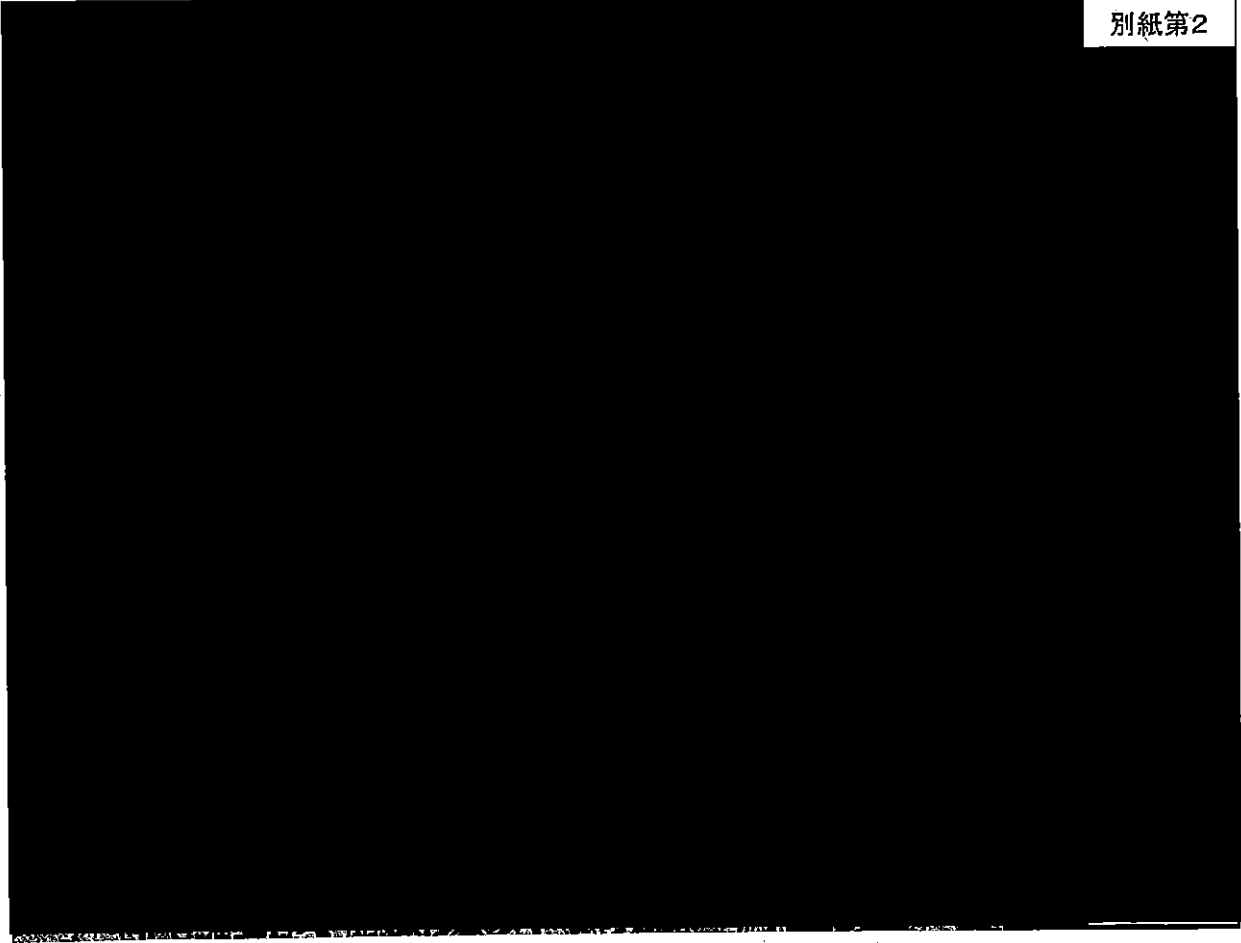


Assessment:

[Redacted]

[Redacted]

別紙第2



バグダッド 日誌 (7月3日)

○多国籍師団担任国の思惑

イラクにおいて多国籍師団を担任しているのは米(3コ師団)、英、韓、ポーランドの4カ国である。この4カ国の思惑を「指揮」「国益」「脅威」の3つの観点で個人的に見ている。

先ず「指揮」の面で考えると米・英・ポーランドは担当師団内で「Multi-lateral Command」で師団地域に自国以外の部隊を率いているが、韓国のみ「Uni-lateral Command」で担当地域には韓国軍しかいない。このため韓国は、担任地域の広さの割に多くの人員を派遣しなければならないが、反面多国間の調整の煩わしさを回避しているとも言える。またポーランドのようにMultiの能力を持つことにより、派遣規模を縮小している面もある。イタリアは現時点でポーランド以上に人員を派遣しているにも拘わらず、英軍の指揮下に入り、師団担当を回避している。

「国益」の観点では米が「北部のキルクーク油田」・英が「南部のバスラ油田」を押さえ、権益確保の思惑が伺える。ポーランド、韓国は、石油ではなく国際社会に対する「貢献」という形で国益を確保しているように感じる。

「脅威」の観点では、スンニ・トライアングル等の最も危険な地域を米国が担当し、英国もスンニ・トライアングルほどではないが脅威の高い「バスラ」地区で脅威を負い、米軍に次ぐ犠牲を払っている。この観点では韓国軍は安全を第一に考えた地域を担当し、師団を担当しながら未だ一人の怪我人もだしておらず、また任務で一発の射撃もしていないようだ。ポーランドは、石油等が出ない地域であるが、脅威のある地域の担当であり割に合わない地域である。

総括した私の見立ては、

「米」は高い指揮能力をもち、リスクを背負って犠牲を覚悟しながら唯一の超大国としての責任を全うしている。その中でも石油等の権益をきっちり押さえている。

「英」は、卓越した指揮能力を発揮して、したたかに「石油」の権益を確保している。権益に付随する脅威・犠牲もアメリカに比して非常に小さく抑えている。

「韓」は、安全を第一に高い動員能力をもって貢献し、国際社会における地位向上を図っている。

「ポーランド」は高い指揮能力を活用して、数的にすくない人的負担であるが犠牲のリスクを負い、世界の中でのポーランドの地位向上を図っている。

イラク・オペレーションに参加しているコアリションの中で師団を担当する主要4カ国を見たが、コアリションは「有志連合」といわれる文書協定のない、各国の「志」により作戦に参加しており、現在参加しているコアリション29カ国が自国の特性に応じて、進んで貢献できることを提供してこの作戦にあたっている。



バスラLO日々業務報告(7月3日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED] [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整、師団長表彰調整、英軍回線撤収調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	



バスラ日誌(7月3日) -160号(最終記念号)-

- 1 4日、0900をもって [] を遮断する。いよいよ先発及び主力の移動が目前に迫ってきた。これまで、師団がどう考えているか、司令部の雰囲気は、あるいは我々の近況は、さらにはサマワに対する感謝、または意見具申等、様々なことを伝え、喜んで頂いたり、お叱りを頂いたりしてきたが、本日をもって最終号とし、残る詰め業務に専念したいと思う。最後のお1人が、無事クウェートに到達するまで、全力を尽くして我々に与えられた任務を完遂したいと思う。
『皆さん、クウェートで会いましょう!』 []
- 2 バスラは、距離及び脅威のため移動の制約があり、電話とEメールという限られた連絡手段のみによって意思疎通を図らねばならず、サマワの関係者の皆さんには色々ご迷惑をおかけしたかもしれない。しかし、我々バスラLOは、[] を中心に日本隊の任務達成のために最善を尽くしてきたと自負している。相手が何を必要としているか、相手が何をしてもらえば任務を完遂できるのかを常に考える、相手の視点にたった思いやりの姿勢で最後まで勤務していきたい。 []
- 3 バスラLO情報担当として、「緊急情報の即時報告」、「使用者が利用しやすい情報資料の提供」を心掛けて勤務してきたつもりであるが、至らない点もあり皆様にご迷惑をお掛けしたかもしれない。ほとんどの他国軍軍人は、我々LOが日本人と接する初めての機会であったと思われるが、班長を筆頭に「勤勉な日本人」の印象を持ったのではないかと密かに思っている。戦後、日本は奇跡の復興を果たした。その理由が「勤勉さ」にあると他国軍軍人は、感じているようである。 []
- 4 バスラで勤務して、多国籍師団の作戦を目の当たりにすることができた。今思うと、状況は常に変化し、また様々な出来事があり、あっという間に時が流れていったような感じだ。その間、多国籍師団とサマワとの架け橋として勤務できたことに幸せを感じている。また、多国籍師団から受けた数多くの支援や日本、サマワ等からの激励には感謝の気持ちで一杯である。勤務を振り返ってみたが、まだ終わってわけではないので、最後まで任務が全うできるように気を引き締めていきたい。 []
- 5 バスラ4名、最後まで極めて健康! 英軍病院受診回数0! サマワから送ってもらったO虫の薬のみ!



スミッティLO日々業務報告(7月3日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし。 Threat Level
2 特記事項	昨日(7/2 2144頃)発生した に対するIDF攻撃事案に関して重点的に情報収集を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 に対するIDF攻撃事案関連情報、宿営地南道沿いの不審物関連情報、サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、サマーワ宿営地における雷管処理(爆破)関連、TFMCO・AMTG3 COIに対する情報提供関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE2・3: 英軍(小火器) 0800~1300

クウェート分遣班業務報告

1 8 . 7 . 3

全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等: <input type="checkbox"/> 人員・武器等: 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 0700 36°C(42°C) 1100 47°C(55°C) ()は直射日光
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 業者調整 <input type="checkbox"/> 防衛施設庁交代要員に対する帰国支援 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける群後方指揮所開設作業 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援	<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> ACSA調整
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 天幕返納準備 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける群後方指揮所開設作業 <input type="checkbox"/> コンテナ積載・点検 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援	<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> 米軍との業務調整
その他	
なし	

クウェートLO日々業務報告(7月3日1900)

区 分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報):クウェート全土「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 (1) バグダッド連絡班受入に関する連絡調整 (2) 患者後送に関する連絡調整 2 情報収集 情報資料 3件	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 2 情報収集	
その他	なし	